

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年11月25日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年11月25日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【6号機原子炉建屋高電導度廃液系サンプ(A)への油分混入について】 当直員が、6号機原子炉建屋高電導度廃液系サンプ(A)への油分混入を確認。 確認可能な流入排水口を調査したが、油分の流入なし。 当該サンプに油分が混入した原因は不明。 今後、当該サンプの油分を除去し、原因調査、および、再発防止対策を検討。	GⅢ	11月19日
2	【既設淡水化装置のウルトラフィルタ出口配管からの漏えいについて】 協力企業作業員がパトロールにて、ウルトラフィルタ1-2出口配管のドレン配管接続部の3箇所より漏えいを確認。 漏えい箇所上流にある弁を全閉し、漏えいを停止。 ウルトラフィルタ出口ラインを1-2から2-2に切替えることにより、淡水化装置の運転に支障なし。 漏えいした水は、堰内に留まっており建屋外の流出はない。 また、漏えいした水については、拭き取りを実施済み。 今後、漏えい箇所の修理を実施予定。	GⅢ	11月21日